

## 令和4年度 国語科 「古典A」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年 1～8 組
教科書	第一学習社 標準古典A	副教材等	古語辞典・図説国語

### 1 学習の到達目標

1 古典としての古文と漢文を読むことによって、日本の文化と伝統に対する関心を深める。 2 生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。
--

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
5	文字一つの返し	▼本文の読みを通して、説話に描かれた人物像を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の展開、登場人物の心情を理解するために、本文を何回も読む練習をする。</li> <li>・わかりにくい言葉、表現について辞書、図説を活用し理解を深める。</li> <li>・全文を現代語に訳しながら場面についての理解を深める。</li> <li>・藤原成範の機転の利いた行動から、昔への思いについて想像し、その生き方について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
6	かぐや姫の昇天	▼物語の展開、登場人物の心情を理解し物語世界を読み味わう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹取物語という有名な古典の終わり近くを読むことで、わかっているつもりになっていた竹取物語が、実際にはどのような話なのかを確認していく。</li> <li>・古今異義語を中心に自分で現代語訳をしていく中で、現代人との考え方の違いや、人間の心情の変わらない部分を確認していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
7	画竜点睛・推敲	▼現在も用いられている四字熟語や故事成語の出典を知り、言葉に対する興味を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画竜点睛などの現代における意味を説明する。</li> <li>・漢文訓読の基礎の再確認をし、訓点がついた漢文を読み下す練習をする。</li> <li>・ルールに従って書き下し文を書く練習をする。</li> <li>・漢文を読んでいく中で、意味を考え、現代語訳をしながらこの故事がなぜこういう意味で使われるようになったのかを考えていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
9	初冠	▼和歌の背後にある作者の心情を読み取り、物語を深く味わうとともに、和歌の理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢物語の文学的な位置を図説で確認する。</li> <li>・和歌に使われる技法を図説で確認し、実際にどの技法がどのように使われているのかを確認する。</li> <li>・古語辞典を使って難しい語について意味を確認し、内容について深く理解する。</li> <li>・平安時代と現代での生活習慣の違いについて考えながら変わらないものは何かを考えていく。</li> <li>・現代との生活習慣の違い、また貴族の一生について図説を見ながら理解を深める。</li> <li>・伊勢物語の他の恋愛に関する物語を参考として読み、主人公の男の生き方について考察を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・行動観察</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
10	水魚の交わり	▼日本人にとってなじみの深い三国志の物語を読み、古典に親しむを持つ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十八史略について図説で調べ、中国の歴史についての概略を知る。</li> <li>・複雑に絡み合う人間関係を3つの国の中で整理し、主要登場人物についての理解を深める。</li> <li>・対人関係を表す故事成語について調べ、それぞれがどのような友人関係を表しているのかを調べる。</li> <li>・諸葛亮孔明が、劉備玄德という男とどういうふうに出会い、何に惹かれて生涯仕えることに決めたのかを想像する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・行動観察</li> </ul>
11	鴻門の会	▼中国の史書の有名な場面を読み、その中に描かれた英雄豪傑の活躍や悲運を読み味わう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代と現代の人間同士の関係性の共通点と相違点を理解する。</li> <li>・当時の主人公たちが置かれた状況とその人間関係を図説を見ながら確認し、理解する。</li> <li>・漢文独特の表現について知り、何を表現するためにこういう表現を使っているのかを理解する。</li> <li>・歴史に実在した人物の逸話を読むことによって、古典の世界を身近なものとしてとらえ直す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・行動観察</li> </ul>

12	中納言参り給ひて	▼表現や展開を的確に読み取り、それぞれの主語を理解する。多様な物語世界を味わって人間や社会についての認識を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平安時代の文章を何回も繰り返し読むことにより、独特のリズムに慣れる。</li> <li>・現代と昔の生活様式の違い、また主人公たちの当時の社会的地位を説明しながら、華やかな表現に隠された内面を想像し、作者が書きたかったことはなにかを理解する。</li> <li>・作者のものの見方、感じ方を知ること、同じ作者の他の作品に対する興味を喚起する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・行動観察</li> </ul>
1	能登殿の最期	▼和漢混雑文の韻律を踏んだ流麗な文章を味読し、朗読による文学作品の享受、鑑賞をする。 『平家物語』特有の語彙に注意し、適切な読解ができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦って死ぬという戦国武将の生き方、考え方について考察を深める。</li> <li>・場面の盛り上がり即した、勢いのある読みを群読を通して意識的に行う。</li> <li>・本文中の登場人物の装束に関する語句について具体的にイメージできるように図説を活用する。</li> <li>・辞書を活用し、古典にしかない言葉の意味を具体的にイメージする。</li> <li>・登場人物の生き方、考え方を人物の分析を通じて考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
2	鴟腐鼠を得たり	▼表現や展開を的確に読み取り、それぞれの主題を理解する。 寓話を読んで、人間や社会についての認識を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公のたとえ話によって、この寓話が構成されていることを理解する。</li> <li>・前半部で語られる恵子的情況とその常識的な考え方を理解する。</li> <li>・フクロウと鳳凰の違いを明確にししながら、このたとえ話について理解していく。</li> <li>・このたとえ話をしなければならなかった理由を理解する。</li> <li>・作者がこの寓話で語りたかったことを理解する。</li> <li>・「莊子」という作品が生まれた思想的な背景について、図説を活用して調べて発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
3				

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	古典を読む楽しさを味わい、読書に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしているか。
話す・聞く能力	
読む能力	まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させているか。
書く能力	
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けているか。

### 4 評価の方法

「関心・意欲・態度」、「書く能力」、「知識・理解」の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
--

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

毎時間、図説国語や辞書を用意しておいて下さい。様々な観点から評価しますので、普段の授業の1時間1時間を大切にして下さい。できる限り多くの文章に触れ、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりするようにして下さい。
---